

令和6年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	2	氏名	岩 村 恵 美 議員	1 / 1
発 言 項 目			要 旨		答 弁 者
1	食の安全、食品添加物及び食を通した健康づくりについて	<p>現在、日本には1,500種類以上の食品添加物が存在している。アメリカにおいては、1977年にアメリカ上院の栄養問題特別委員会が、食品添加物や農薬、その他の化学物質がこどもの脳と心の正常な発達を妨げる、と報告している。イギリスにおいては、英国食品基準庁が委託した研究所で、こどものADHD（注意欠陥・多動性障害）が6種の合成着色料と関連している可能性が示され、EUにおいては、2010年にこれらの添加物を含む食品に「こどもの活動と注意力に影響を与えるおそれがある」という表示を義務付ける強制食品表示規制を導入した。</p> <p>合成着色料、発色剤（亜硝酸Na）、合成保存料（ソルビン酸、安息香酸ナトリウム）、漂白剤の4種は発がん性やアレルギー性などの毒性が特に強い添加物であるが、日本ではごく日常的に使われている。体が小さく発育途上であるこどもほど影響を受けやすいことから、こどもの体に入れることは避けるべきだと考える。また近年、トランス脂肪酸の過剰摂取の危険性も指摘されているほか、高齢化だけでは説明がつかない、全国的な医療費の増加に歯止めがかからない現状もある。</p> <p>そこで、食の安全、今回は特に食品添加物と食育、当市の食を通した健康づくりについて、以下伺う。</p> <p>(1) 学校給食における食品添加物の取扱いについて。</p> <p>(2) 食育の観点から、学校における食品添加物の教育はどのようにしているのか。</p> <p>(3) もうすぐパパ・ママ学級などで現状と食育に関する講座はあるのか。</p> <p>(4) 当市における次のそれぞれの20年前、10年前及び現在の人数について伺う。</p> <p>① 低体重児について。</p> <p>② 乳がん罹患患者について。</p> <p>③ 大腸がん罹患患者について。</p> <p>④ 透析患者について。</p> <p>(5) 歳をとっても元気なまま終末を迎えるための啓発活動についてはどのように考えているのか。</p>			市長 副市長 教育長 関係部長